

# 平成 28 年度 特別会計決算額

特別会計とは、特定の事業を行う場合に特定の収入を特定の支出にあて、一般会計とは別に収支経理を行うことです。平成 28 年度の特別会計決算額は、歳入 22 億 3,490 万円、歳出 21 億 6,889 万円です。詳しくは下記の表のとおりです。

●特別会計	単位：万円	歳入	歳出
国民健康保険		16 億 9,306	16 億 4,530
後期高齢者医療		2 億 8,233	2 億 8,021
診療所事業		1 億 1,294	9,802
井内地域開発事業		145	126
町営浄化槽整備推進事業		1 億 4,512	1 億 4,410
●水道事業特別会計			
水道収益的収支		3 億 28	2 億 7,384
水道資本的収支		2,000	1 億 1,531

●町の貯金と借金 (平成 28 年度末)	単位：万円	
基金 (貯金)	財政調整基金	22 億 7,988
	地域振興基金	11 億 2,317
	その他の一般会計基金	5 億 9,970
	特別会計基金合計	9,148
基金合計	40 億 9,423	
地方債等借金	一般会計	80 億 1,460
	水道事業特別会計	15 億 1,970
	町営浄化槽整備推進事業特別会計	2 億 2,379
	地方債等合計	97 億 5,809



# 平成 28 年度決算報告 一般会計歳出額は

# 62 億 9,159 万円

平成 28 年度一般会計・特別会計の決算が町議会 9 月定例会で承認されました。

当初予算 60 億 8,281 万円スタートした平成 28 年度一般会計決算は最終的に歳入が 65 億 644 万円、歳出は 62 億 9,159 万円。歳入から歳出を差し引くと 2 億 1,485 万円の黒字となりますが、そのうち 29 年度へ繰り越す事業に必要なお金が 2,799 万円

ありますので、実質的な収支は 1 億 8,686 万円の黒字決算となり、そのうち 1 億円を財政調整基金に積み立てました。その他、特別会計においては以下の表のとおりとなっています。

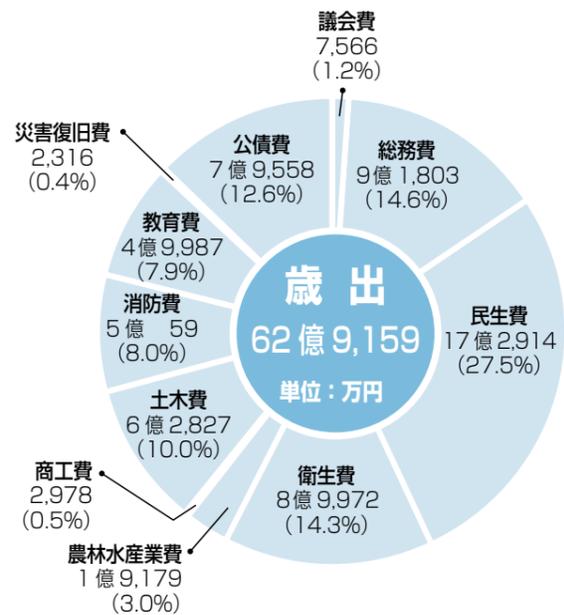
それでは、平成 28 年度の一般会計決算状況をお知らせします。  
(予算額・決算額は、千円単位を四捨五入しています。)

## ◆平成 28 年度の主なまちづくり事業

総務費	
町有林整備委託事業	528 万円
地方創生 木造住宅建設促進補助事業	557 万円
町民バス運行委託事業	5,239 万円
紀宝みなとフェスティバル実行委員会負担金	700 万円
民生費	
臨時福祉給付金事業	6,199 万円
福祉医療費助成事業	7,436 万円
学童保育運営委託事業	1,015 万円
衛生費	
予防接種事業	3,005 万円
妊婦個別健診・乳幼児健診事業	771 万円
環境測定委託事業	227 万円
農林水産費	
団体営農村振興総合整備事業	4,152 万円
中山間地域総合整備事業負担金	1,401 万円
有害鳥獣駆除補助事業	215 万円
新規就農者補助事業	750 万円
商工費	
ウミガメ公園管理等委託事業	523 万円
光の祭典 in 紀宝イベント業務委託事業	200 万円
土木費	
道整備交付金事業	1 億 4,891 万円
社会資本整備総合交付金事業	1 億 39 万円
高岡第一樋門排水機場ポンプ取替事業	2,024 万円
消防費	
成川地区高台整備事業	5,955 万円
小中学校 (町内 4 校) 太陽光発電設備等導入事業	1 億 3,818 万円
紀宝町ハザードマップ作成委託事業	402 万円
教育費	
神内小学校屋外便所新築事業	583 万円
明和小学校解体撤去事業	3,758 万円
鶴殿図書館図書購入事業	278 万円

# 歳出

トップは民生費の 17 億 2,914 万円  
歳出は 62 億 9,159 万円となり、目的別で見ると内訳では使い道でトップに立ったのは児童手当や福祉医療費助成制度などの民生費で、歳出全体の 27.5% を占める 17 億 2,914 万円でした。続いて多いのがイベント費用や選挙費用などの総務費で、14.6%、9 億 1,803 万円となりました。



# 歳入

地方交付税が全体の 44%  
歳入は 65 億 644 万円となりました。歳入を町税や諸収入など町が自主的に確保することができると、地方交付税や国庫支出金などの依存財源が 72.1% と全体の 2/3 を超えており、自主財源の金額が前年度より減額したため、依存財源の割合が 1.1% 上がっています。また、町税収入などの自主財源は 27.9% で全体の約 1/4 となっています。

